

としょかんくん

としょリンピックに挑戦しよう!

今年も、としょリンピックのきせつがやってきました。
毎年挑戦しているお友だちも、まだ挑戦したことのないお友だちも、今年の夏は挑戦しよう!!

マラソンコースとチャレンジコースの2つのコースがあります。

かいさい期間は7月8日(土)～8月30日(水) までです。



★マラソンコース★

●ルール

- 絵本や物語の本を読もう。マンガ、クイズ、図鑑などは入りません。
- 市内の図書館、学校図書館の本、おうちの本が対象です。
- 市内の図書館にあるマラソンコースカードに、読んだ本の名前を記入してね。
- 10冊達成ごとに、記念品とひょうしょう状をプレゼント! **もくひょうは30冊達成!**
- ※記念品のこうかんは、それぞれひとり1回です。記念品は全館共通です。
- ※記念品の引きかえきげんは、9月3日(日) までです。

●記念品

★10冊 紙飛行機



線のとおりに折ると、紙飛行機ができるよ!

★20冊 クリアファイル



クリアファイルの絵は中央図書館と地域図書館で違うよ。

★30冊 豆本と貸出カードケース



豆本はお話を書いたり、メモ帳として使えるよ。

★チャレンジコース★

●ルール

- 各図書館にある、チャレンジカードの内容に挑戦しよう。全部の問題にチャレンジできたら、記念品をプレゼント!
- ※チャレンジカードの内容は、図書館によって違います。市内の9つの図書館でチャレンジしてみてね。
- ※記念品は中央図書館と地域図書館で異なります。

★今年の夏はとしょリンピック!! ★本を読もう!! ★図書館に行こう!! ★

すずしくなる本



『かき氷 天然氷をつくる』細島 雅代／写真 伊地知 英信／文
岩崎書店 (588ホ)
冬のあいだ、せんようの池で作った氷を、夏まで保存している氷屋さんが、埼玉県にあります。しぜんの寒さで作った氷は、とうめいでかたく、とてもきれい。その氷で、かき氷を作って売っているのです。ひとさじのかき氷が口に入るまでに、たくさんの人がかかわっていることがわかります。



『ホッキョクグマが教えてくれたこと ぼくの北極探検3000キロメートル』
寺沢 孝毅／著 あべ 弘士／絵 ポプラ社 (297テ)
著者は、北海道の天売島に住む自然写真家です。年々、流氷が少なくなってきていると感じた著者は「こんちぎ号」と名づけた船で、仲間とともに調査の旅に乗り出します。約一か月のあいだに出会ったホッキョクグマは、のべ30頭以上。著者はこの旅でホッキョクグマからどんなことを教わったのでしょうか。絵本作家のあべ弘士さんも旅に参加して、さし絵をかいています。



『空にふく風』長崎 夏海／作 佐藤 真紀子／絵 汐文社 (913ナ)
ミナモは小学四年生。同じ団地のおさななじみヒロトとは、ひろった子ねこをいっしょに世話したり、にくまれ口を言い合ったりするなか。でも、最近ヒロトはなんだか少しおかしくて…。学校でも家でも問題をかかえながら、それでもいっしょうけんめいに生きるミナモたちの、ひと夏の物語です。



☆☆☆ としょかんクイズ ☆☆☆

- みどりのカーテンを作るとき、気をつけたいポイントは？
①あみをピンとはる ②毎日水をやる ③のびたつるを切らないようにする
(『みどりのカーテンをつくろう』菊本 るり子／作 のぐち ようこ／絵 あかね書房 より)
- ホッキョクグマのてんてきは、なんの動物でしょう？
①あざらし ②セイウチ ③ホッキョクグマ
(『ホッキョクグマが教えてくれたこと』寺沢 孝毅／著 あべ 弘士／絵 ポプラ社 より)

★答えは4ページにあるよ！

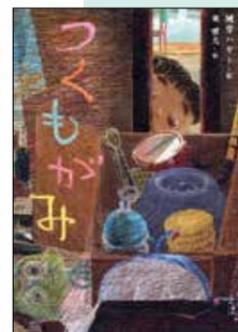
暑～い夏。冷たいかき氷を作るようすや、ふしぎなようかいのお話など、すずしく感じる本を集めてみました。読んだらヒヤッとすることも!?



『暑さとくらし』鈴木 信恵／著 宿谷 昌則／監修 ほるぷ出版 (498ス)
暑い毎日、すぐにエアコンのスイッチをいれたり、冷たいものをたくさん飲んだりしていませんか。暑さをやわらげるために、私たちにもできることがあります。この本には、住まいや衣服のちょっとした工夫で、暑い夏をすずしくすごすヒントがたくさんあります。みなさんも、この本のアイデアで、暑い夏をじょうずに乗りきりましょう。



『みどりのカーテンをつくろう』菊本 るり子／作 のぐち ようこ／絵
あかね書房 (絵本ノ)
まどべにかけたあみなどに、つるせいの植物をしげらせると、葉っぱのあいだをすずしい風が通りぬけます。根っこからすいあげた水が、葉のうらがわから出て、まわりの温度を下げています。これをみどりのカーテンとよんでいます。いろいろな植物で作れますが、この本ではゴーヤのカーテンの作り方がくわしく出ています。おうちや学校で育てるときはぜひ読んでみてね。



『つくもがみ』京極 夏彦／作 城芽 ハヤト／絵 東 雅夫／編
岩崎書店 (絵本ジ)
「ものをそまつにすると、ばけてでるよ」とおじいちゃんはいうけど、ものがばけるってどういうことだろう。おじいちゃんは昔の道具をとってほしい。それなのに、ある日道具たちがばけだして…。ちょっぴりこわくておもしろい、ようかい「つくもがみ」のお話です。

☆☆☆ 他にもこんな本があります ☆☆☆

- 『どうくつをたんけんする』堀内 誠一／さく 福音館書店 (454ホ)
- 『ばばあちゃんのアイス・パーティ』さとう わきこ／作 福音館書店 (絵本サ)
- 『しりっぽおばけ』ジョアンナ・ガルドン／再話 ポール・ガルドン／絵 代田 昇／訳
ほるぷ出版 (絵本ガ)
- 『おでんさむらい ひやしおでんのまき』内田 麟太郎／文 西村 繁男／絵
くもん出版 (絵本二)

※()の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。



画：おんだちかこ

小野塚喜平次は、政治について研究をした学者です。明治3年（1870）に上田町（今の長岡市上田町）で生まれました。

東京帝国大学（今の東京大学）の教授だったとき、他の教授が自分の意見をのべて、政府からきびしい処分を受けるといふ事件がありました。喜平次は、この処分に反対しました。だれでも自分の意見を言う権利はある、それに大学のことは大学が決めるべきだと言いました。のちに総長（東大全体の責任者）になってからも、学問の自由を守りぬきました。いやがらせを受けても、政府に口出しさせることを決してゆるしませんでした。

外国語が得意で、スピーチも上手でした。そのため、政治家にならないかとさそわれましたが、すべてことわって、多くの学者を育てました。昭和19年（1944）に亡くなるまで、日本にとってよいか悪いかだけにこだわることなく、広く世界を見ていた人でした。

もんじょしりょうしつ はやし とむこ
(文書資料室 林 朋子)

みんなの声



としょかんくん150号読者アンケートの中から、みなさんの声をしょうかいします。

『としょかんくん』150号の感想をひとこと!

★としょかんくんがたくさん出ていたことがわかって、びっくりしました。

なかじましょう ねん
(中島小3年 げこくじょうさん)

★としょかんくんのれきしがみれて、とてもおもしろかったです。

おぐにしょう ねん
(小国小3年 カンコンさん)

あなたの好きな本、おもしろかった本を教えてください!

★『わたしはあかねこ』サトシン/作 西村 敏雄/絵 文溪堂 (絵本二)

あかねこが大人になって、赤ちゃんがうまれるところがおもしろいです。

いしがきしょう ねん
(石坂小3年 ダンク少年さん)

★『もりのおばけのぷーらりさん』角野 栄子/作 ふくだ すぐる/絵 ポプラ社 (913カ)

ぷーらりさんの目がキラキラしておもしろかったです。

みやもとしょう ねん
(宮本小3年 らんちゃんさん)

※()の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

☆イラストコーナー☆ すてきなイラストをどうもありがとう!



おぐにしょう ねん
小国小3年 コアラくんさん

いしがきしょう ねん
石坂小3年 まるさきさん

まいたしょう ねん
与板小3年 あいちゃんさん

としょかんくんクイズの答え Q1:① Q2:③

平成29年7月1日 発行

編集・発行：長岡市立中央図書館

印刷：北越印刷(株)

住所：長岡市学校町1丁目2番2号

電話：0258 (32) 0658

ホームページ：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

メールアドレス：lib@city.nagaoka.niigata.jp